

## 全国幼児教育研究協会滋賀支部の活動を紹介します。

滋賀支部は立ち上げ当時は会員数10名程度であったと聞いていますが、平成23年に全国大会を受けたことをきっかけに、その数年前から会員数を増やし、全国大会の年の会員数200人以上を今も維持しています。全国大会を開催したことで会員相互が学びの実感を得ました。時代の流れの中で、幼児の幸せを願って幼児教育の大切さを知る者がつながり・集い・学び合う全幼研。保育の質の向上を目指す『全幼県・滋賀支部』でありたいと願っています。

### 公開保育を伴う研修会

1年に1回、保育公開を伴う研究会を実施しています。大切にしているのは、保育後のグループに分かれての協議会です。小グループに分かれて参加者は保育についての意見を述べ、保育者もそのグループに入ってその日の保育の場面の子どもの姿などについて述べ、意見を交換し合います。保育者は保育を公開することで保育について考え、悩み、振り返り様々なことを学びます。参加者も意見を述べることで積極的に協議会に参加し、保育からの学びを確かなものにしていきます。若い先生たちの参加が多く、まさに人材育成の機会として貴重な研修と考えています。



### 経営についての学び合い

こども園化や無償化、一体化施設への移行など時代の流れに沿って、幼児教育を取り巻く環境情勢が変化しています。

滋賀県内でも郡市によっても形態は様々です。園長・保育主任など経営にかかわる者同士が集まって実践報告や意見交換会などしながら悩みを共有し、時代に即した園経営がなされるように研修しています。

### 初のリモート公開研修！

9月の保育を伴う研修会の講師、相愛大学中井清津子先生の講演を録画して会員の皆さんに期間限定で配信しました。少人数研修にしたため参加できなかった会員の方々に研修の内容を配信することができました。初めての試みでしたが、新しい研修の様式として会員の先生方にも喜んでいただきました。新しい研修会の在り方として、今後取り入れていきたいと思えます。

### 「コロナ禍でも学びを止めない！」

コロナ禍の中でも今年も昨年と変わらぬ会員数となりました。会員の皆さんからの思いを受け止め、今年度ならではのリモート研修に取り組み、会員の先生方から喜ばれる研修を試みました。

人数を制限した公開保育研修、分散型の特別支援に特化したワークを伴う研修などです。これらの内容も、後日、期間限定でリモート配信して学びを広げています。特別な支援を要する子どもが増えつつあり「一人一人の特性を生かした集団づくり」を研修テーマとし、専門性を磨くための研修の機会をもっています。滋賀県も広いので、同じ内容を2会場で開催し、参加しやすい方法を工夫していることも成果につながっています。